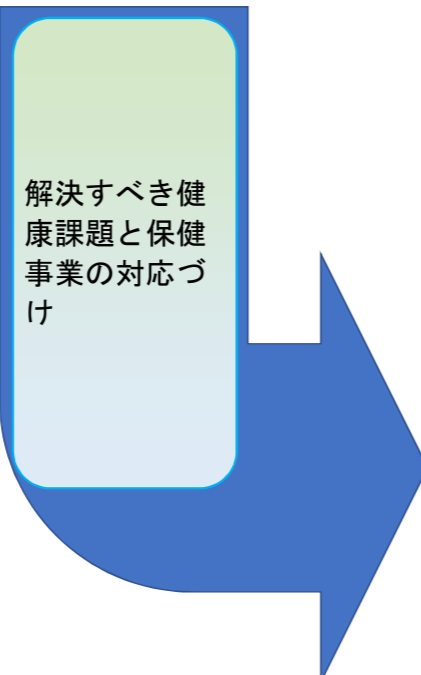


Ⅲ 計画全体

保険者の健康課題		被保険者の健康に関する課題	
①項目	②健康課題	③優先する健康課題	④対応する保健事業番号
A	本市の特定健診実施率は約38%であり、被保険者全体の健康状態を十分に把握できているとは言い難い状況にある。地域の健康課題に対してより効果的な保健事業を展開するためにも、これまで以上に多くの特定健診の結果分析が必要となる。そのため、特定健診未受診者に対するさらなる受診勧奨と継続的な受診につながる施策の実施が必要である。	1	1
B	本市では、生活習慣病の原因となる血圧や脂質が高く、運動習慣がない割合が男性女性ともに約半数近くに上る。加えて、糖尿病治療に要する医療費が高額となる状態が継続している。生活習慣病を予防することは、被保険者の健康寿命の延伸と将来にわたる医療費の削減につながることから、生活習慣病予防の受診勧奨に加え、特定保健指導を実施していく必要がある。	2	2、3、4
C	被保険者1人当たりの医療費は、少子高齢化や医療の高度化等によって、増加傾向にある。将来にわたって、国保財政の健全な運営を継続していくためにも、医療費適正化の事業を推進する必要がある。	3	5



データヘルス計画全体における目的		データ分析の結果に基づき、死因や医療費の上位に挙がる糖尿病の発症予防を重点課題とし、被保険者の健康状態の見える化、及び当該疾病につながる生活習慣病の早期発見・早期治療・予防に向けた事業を展開する。								
⑤項目	⑥データヘルス計画全体における目標	⑦評価指標	⑧計画策定時実績	⑨目標値						
			2022年度(R4)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)	2028年度(R10)	2029年度(R11)	
A	特定健康診査受診率の向上	特定健康診査実施率	38.5%	42%	45.5%	49%	52.5%	56%	60%	
B	生活習慣病の予防	特定保健指導実施率	16.9%	24%	31.1%	38.2%	45.3%	52.4%	60%	
B	生活習慣病の予防	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	19.7%	増加	増加	増加	増加	増加	増加させる	
B	生活習慣病の予防	特定保健指導対象者の減少率	16.9%	増加	増加	増加	増加	増加	増加させる	
B	生活習慣病の予防	HbA1c8.0%以上の者の割合	1.5%	減少	減少	減少	減少	減少	1.2%	
B	生活習慣病の予防	高血糖者の割合	8.7%	減少	減少	減少	減少	減少	増加させない	
B	生活習慣病の予防	HbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	15.7%	減少	減少	減少	減少	減少	減少させる	
B	生活習慣病の予防	血圧が保健指導判定値以上の者の割合	58.0%	減少	減少	減少	減少	減少	減少させる	
C	医療費適正	後発医薬品の使用割合（数量ベース）	83.4%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	

個別の保健事業	
⑩番号	⑪事業名称
1	特定健康診査事業
2	特定保健指導事業
3	糖尿病性腎症重症化予防事業（保健事業）
4	生活習慣病予防事業（未受診・中断）
5	重複服薬